

令和8（2026）年度

学 生 募 集 要 項

愛知県立大学大学院国際文化研究科
国際文化専攻・日本文化専攻

博士前期課程（春季）

I 一 般 学 生

II 社 会 人 学 生

III 外 国 人 留 学 生

出願期間 令和8（2026）年1月5日（月）～1月13日（火）

試験日 令和8（2026）年2月14日（土）

合格発表日 令和8（2026）年2月27日（金）

入学手続期間 令和8（2026）年3月4日（水）～3月6日（金）

愛知県立大学大学院
国際文化研究科

お知らせ

I 入学試験中止又は試験開始時刻変更等のお知らせについて

台風・雪・地震等による災害、試験実施上の事故などの事情により、試験が所定の期日に実施できない場合又は交通機関の乱れ等による試験開始時刻変更のお知らせは下記のサイトで情報提供します。

なお、再試験の場合は原則、その翌日以降に実施します。

【スマホ・携帯電話サイト（緊急連絡システム）】

URL <https://daigakujc.jp/aichi-pu/>

（携帯電話・スマートフォン・パソコンからアクセスできます。）



II 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関する法令に基づき適切に管理します。

【利用目的について】

- 1 出願時に得た氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜、合格者発表、入学手続事務を行うために利用します。
- 2 出願時に得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の改善のための検討資料の作成に利用します。また、入学者についてのみ、学務関係（学籍管理、学習指導等）、学生支援関係業務（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）を行うために利用します。
- 3 上記2の各種業務での利用に当たり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行う場合は、受託者に託し、委託した業務の遂行のため必要となる限度内で個人情報を提供します。

【第三者への個人情報の提供】

取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することができます。

III 安全保障輸出管理について

愛知県立大学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき、国際的な平和及び安全の維持に寄与することを目的として「愛知県立大学安全保障輸出管理規程」を制定しました。外国人留学生等の受け入れに際して実施する事前確認の結果により、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますのでご注意ください。

〔問い合わせ先〕

愛知県立大学（〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3）

○入試、入学手続について

入試課 電話 0561-76-8813 E-mail : nyusi@bur.aichi-pu.ac.jp

○研究科の講義、教員について

学務課国際文化専攻担当 電話 0561-76-8824 E-mail : gaigo-t@bur.aichi-pu.ac.jp

日本文化専攻担当 電話 0561-76-8823 E-mail : 同上

○入学検定料、入学料及び授業料に関する減免について

学生支援課 電話 0561-76-8828 E-mail : gakusei@bur.aichi-pu.ac.jp

※事務取扱時間は9:00～17:30です。土日祝、夏季（8/13～17）、年末年始（12/27～1/4）及び本学が特別に休暇と定める日を除きます。

目 次

I	愛知県立大学大学院国際文化研究科 博士前期課程 一般学生募集要項	2
II	愛知県立大学大学院国際文化研究科 博士前期課程 社会人学生募集要項	4
III	愛知県立大学大学院国際文化研究科 博士前期課程 外国人留学生募集要項	6
IV	出願手続（一般・社会人・外国人留学生共通）	8
V	出願、受験上の諸注意（一般・社会人・外国人留学生共通）	8
VI	受験上及び修学上の配慮申請について（一般・社会人・外国人留学生共通）	9
VII	入学検定料（一般・社会人・外国人留学生共通）	9
VIII	入学試験（一般・社会人・外国人留学生共通）	10
IX	合否判定の基準（一般・社会人・外国人留学生共通）	13
X	合格発表（一般・社会人・外国人留学生共通）	13
X I	入学手続（一般・社会人・外国人留学生共通）	13
X II	授業料（一般・社会人・外国人留学生共通）	14
X III	長期履修制度（一般・社会人・外国人留学生共通）	14
X IV	入試結果の閲覧（一般・社会人・外国人留学生共通）	15
	【一般学生募集要項の出願資格（9）】及び【外国人留学生募集要項の出願資格（5）】による出願資格の事前審査について	16
	【一般学生募集要項の出願資格（10）】による出願資格の事前審査について	16
	【外国人留学生募集要項の出願資格（3）】による出願資格の事前審査について	17
	愛知県立大学大学院国際文化研究科博士前期課程の案内	18
	入学願書記載例	26
	入学願書等記入上の注意	27
	スマホ・携帯電話サイトによる合格者受験番号情報の提供について	29
	本学近辺における勧誘等にご注意ください	29
	愛知県立大学案内図	30

I 愛知県立大学大学院国際文化研究科 博士前期課程 一般学生募集要項

1 専攻及び募集人員

専 攻	入試方式	募集人員
国際文化	A型	10名 ※
	B型	
日本文化	一	5名 ※

※募集人員は、秋季と春季募集を合わせたものです。

※国際文化専攻の募集人員は、一般、学内推薦、社会人及び外国人留学生を合わせたものです。
(入試方式は 10 ページ以降を参照)

※日本文化専攻の募集人員には、学内推薦、社会人及び外国人留学生の若干名を含みます。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
※「外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における 16 年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大蔵省等にお問い合わせください。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとするものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものを受けたものに限る。）において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
- (10) 次のいずれかに該当する者であって、愛知県立大学の定める単位を優秀な成績で修得したと、本学大学院において認めたもの
 - ア 大学に 3 年以上在学した者
 - イ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - エ 日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとするものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

注 1：出願資格（8）の文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者

注 2：出願資格（9）、（10）に該当する者は、事前審査を行います。

該当者は本学 Web ページから事前審査書類をダウンロードし、令和 7 (2025) 年 12 月 9 日（火）までに提出してください。（16、17 ページ参照）

3 出願書類

様式 1～5 及び出願用封筒貼付用紙は本学 Web ページからダウンロードしてください。

出願用封筒の作成方法は、「IV 出願手続」の「2 出願方法」(8 ページ)を確認してください。

提出書類等		摘要
1	出願書類確認票（様式 1）	
2	入学願書・受験票・照合写真票・入学検定料納付証明書貼付票（様式 2）	A4 判用紙に片面印刷したものを提出してください。 26 ページの記入例及び 27 ページの記入上の注意を参考にし、必須事項をもれなく記入してください。 写真《出願前 3 か月以内に撮影した無帽上半身正面のもの（縦 4cm × 横 3cm）、裏面に氏名を記入》を所定の欄に貼付してください。 入学検定料納付証明書（大学提出用）を所定の欄に貼付してください。
3	入学検定料納付証明書（大学提出用）	本学所定の「入学検定料の振込依頼書」（様式 3）により振込をし、 様式 2 の所定の欄に貼り付けてください。 入学検定料の詳細は、「VII 入学検定料」(9 ページ) のとおりです。
4	研究計画書（様式 4）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4 判用紙に両面印刷してください。 別紙添付（2,000 字程度）も可とします。この場合、本学所定用紙（様式 4）の内容欄に「別紙添付」と記入し提出してください。 カラー印刷とモノクロ印刷のいずれも可とします。 日本語に限ります。
5	履歴書（様式 5）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4 判用紙に片面印刷してください。 職歴がない場合は「なし」と記入してください。
6	卒業（見込）証明書等	出願資格（2）に該当する者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を提出してください。
7	成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したものを作成してください。
8	返信用封筒（受験票送付用）	市販の長形 3 号（120mm × 235mm）封筒に 410 円分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
9	論文 3 部 (論文の提出ができる者)	(国際文化専攻) 卒業論文がある者は、その写しを 3 部提出してください。 ただし、本学外国語学部卒業見込者については、出願における論文の提出は不要です。 なお、日本語以外で書かれている場合は、日本語による要約も 3 部提出してください。 (日本文化専攻) 卒業論文、卒業論文を加筆修正した論文、卒業研究報告書のいずれかの写しを 3 部提出してください。ただし、本学日本文化学部卒業見込者については、出願における論文の提出は不要です。なお、日本語以外で書かれている場合は、日本語による要約も 3 部提出してください。
10	受験承認書 (該当者のみ)	出願資格（9）、（10）に該当する者は、本学大学院の事前審査の結果、送付された承認書の写しを添付してください。
11	業務実績表・語学能力証明書 (コミュニケーション通訳学コース履修希望者のみ)	コミュニケーション通訳学コースは通訳専門分野とコーディネイト専門分野に分かれています。（コミュニケーション）通訳及び関連する行政業務等の実務経験がある場合は、業務実績表（様式任意）を提出してください。 また、語学能力を証明できる書類（検定試験合格証書の写し等）があれば、提出してください。なお、通訳専門分野で入学時に求められる最低限の語学能力に関しては、18 ページを参照してください。

注 1：各種証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本、住民票など改氏名したことが証明できる書類をあわせて提出してください。

注 2：外国の大学の卒業証明書及び成績証明書には、日本語訳を添付してください（志願者本人が作成した日本語訳でも可）。

また、原本が 1 通しか発行されない場合は、出願時に写しを提出するとともに試験日に原本を持参してください。国際文化専攻 A 型入試及び日本文化専攻の受験者は口述試験集合時間に原本の確認を行います。国際文化専攻 B 型入試受験者は 10:40～12:00 の間に原本の確認を行います。

注 3：外国人は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）」の定めるところにより、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。

II 愛知県立大学大学院国際文化研究科 博士前期課程 社会人学生募集要項

1 専攻及び募集人員

専 攻	入試方式	募集人員
国際文化	A型	10名 ※
	B型	
日本文化	一	若干名 ※

※国際文化専攻の募集人員は、一般、学内推薦、社会人及び外国人留学生を合わせたものです。

(入試方式は10ページ以降を参照)

※日本文化専攻の募集人員は、一般学生の募集人員に含まれます。

※本研究科では、昼夜開講（昼と夜の開講科目を隔年で交替）を実施し、社会人に充実した高等教育の場を提供しますので、就業しながら勉学することが可能です。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 一般学生募集要項の出願資格のいずれかに該当する者で、入学時において学士取得後2年以上の社会人としての経験を有するもの（職歴は問わない。また、出願時に学部生として在学中のものを除く。）
- (2) 一般学生募集要項の出願資格のいずれかに該当する者で、官公庁・企業・非営利団体等から派遣されるもの（学士取得後の年数は問わない。）

注：一般学生募集要項の出願資格の（9）、（10）に該当する者は、事前審査を行います。

該当者は本学Webページから事前審査書類をダウンロードし、令和7（2025）年12月9日（火）までに提出してください。（16、17ページ参照）

3 出願書類

様式1～5及び出願用封筒貼付用紙は本学Webページからダウンロードしてください。

出願用封筒の作成方法は、「IV 出願手続」の「2 出願方法」（8ページ）を確認してください。

提出書類等	摘要
1 出願書類確認票（様式1）	
2 入学願書・受験票・照合写真票・入学検定料納付証明書貼付票（様式2）	A4判用紙に片面印刷してください。 26ページの記入例及び27ページの記入上の注意を参考にし、必須事項をもれなく記入してください。 写真《出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもの（縦4cm×横3cm）、裏面に氏名を記入》を所定の欄に貼付してください。 入学検定料納付証明書（大学提出用）を所定の欄に貼付してください。
3 入学検定料納付証明書（大学提出用）	本学所定の「入学検定料の振込依頼書」（様式3）により振込をし、 様式2の所定の欄に貼付してください。 入学検定料の詳細は、「VII 入学検定料」（9ページ）のとおりです。
4 研究計画書（様式4）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4判用紙に両面印刷してください。 別紙添付（2,000字程度）での提出も可とします。この場合、本学所定用紙（様式4）の内容欄に「別紙添付」と記入し提出してください。 カラー印刷とモノクロ印刷のいずれも可とします。 日本語に限ります。
5 履歴書（様式5）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4判用紙に片面印刷してください。 職歴がない場合は「なし」と記入してください。
6 卒業（見込）証明書等	一般学生募集要項の出願資格（2）に該当する者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を提出してください。
7 成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したものを持参してください。
8 返信用封筒（受験票送付用）	市販の長形3号（120mm×235mm）封筒に410円分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
9 受験承認書（該当者のみ）	出願資格（9）、（10）に該当する者は、本学大学院の事前審査の結果、送付された承認書の写しを添付してください。

10	業務実績表・語学能力証明書 (コミュニティ通訳学コース履修希望者のみ)	コミュニティ通訳学コースは通訳専門分野とコーディネイト専門分野に分かれています。(コミュニティ)通訳及び関連する行政業務等の実務経験がある場合は、業務実績表(様式任意)を提出してください。 また、語学能力を証明できる書類(検定試験合格証書の写し等)があれば、提出してください。なお、通訳専門分野で入学時に求められる最低限の語学能力に関しては、18ページを参照してください。
11	所属長による受験許可書 (該当者のみ)	出願資格(2)に該当する者は、所属長による受験許可書(様式任意)を添付してください。

注1：各種証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本、住民票など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

注2：外国の大学の卒業証明書及び成績証明書には、日本語訳を添付してください(志願者本人が作成した日本語訳でも可)。

また、原本が1通しか発行されない場合は、出願時に写しを提出するとともに試験日に原本を持参してください。国際文化専攻A型入試及び日本文化専攻の受験者は口述試験集合時間に原本の確認を行います。国際文化専攻B型入試受験者は10:40～12:00の間に原本の確認を行います。

注3：外国人は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」の定めるところにより、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。

III 愛知県立大学大学院国際文化研究科 博士前期課程 外国人留学生募集要項

1 専攻及び募集人員

専 攻	入試方式	募集人員
国際文化	A型	10名 ※
	B型	
日本文化	—	若干名 ※

※国際文化専攻の募集人員は、一般、学内推薦、社会人及び外国人留学生を合わせたものです。

(入試方式は10ページ以降を参照)

※日本文化専攻の募集人員は、一般学生の募集人員に含まれます。

2 出願資格

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって、次の各号のいずれかに該当するもの
※日本国籍を有する二重国籍者は出願することができません。

(1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者

※「外国において、学校教育における16年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における16年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大蔵省等にお問い合わせください。

(2) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものを受けたものに限る。）において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(4) 日本において、外国人留学生として大学を卒業した者及び令和8（2026）年3月31日までに卒業見込みの者

(5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8（2026）年3月31日までに22歳に達するもの

注：出願資格（3）、（5）に該当する者は、事前審査を行います。

該当者は本学Webページから事前審査書類をダウンロードし、令和7（2025）年12月9日（火）までに提出してください。（16、17ページ参照）

3 出願書類

様式1～5及び出願用封筒貼付用紙は本学Webページからダウンロードしてください。

出願用封筒の作成方法は、「IV 出願手続」の「2 出願方法」（8ページ）を確認してください。

提出書類等	摘要
1 出願書類確認票（様式1）	
2 入学願書・受験票・照合写真票・入学検定料納付証明書貼付票（様式2）	A4判用紙に片面印刷してください。 26ページの記入例及び27ページの記入上の注意を参考にし、必須事項をもれなく記入してください。 写真《出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもの（縦4cm×横3cm）、裏面に氏名を記入》を所定の欄に貼付してください。 入学検定料納付証明書（大学提出用）を所定の欄に貼付してください。
3 入学検定料納付証明書（大学提出用）	本学所定の「入学検定料の振込依頼書」（様式3）により振込をし、 様式2の所定の欄に貼付してください。 入学検定料の詳細は、「VII 入学検定料」（9ページ）のとおりです。
4 研究計画書（様式4）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式は改変せず、A4判用紙に両面印刷してください。 別紙添付（2,000字程度）も可とします。この場合、本学所定用紙（様式4）の内容欄に「別紙添付」と記入し提出してください。 カラー印刷とモノクロ印刷のいずれも可とします。 日本語に限ります。

5	履歴書（様式5）	本学所定の様式で作成してください。所定の様式の書式は改変せず、A4判用紙に片面印刷してください。 職歴がない場合は「なし」と記入してください。 日本語学校や研究生としての履歴も記入してください。
6	卒業（見込）証明書	
7	成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したものを提出してください。
8	返信用封筒（受験票送付用）	市販の長形3号（120mm×235mm）封筒に410円分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記してください。
9	論文3部 (論文の提出ができる者)	(国際文化専攻) 卒業論文又はそれに代わるもの（写し）を3部提出してください。ただし、本学外国語学部卒業見込者については、出願における論文の提出は不要です。なお、日本語以外で書かれている場合は、日本語による要約も3部提出してください。 (日本文化専攻) 卒業論文、卒業論文を加筆修正した論文、卒業研究報告書のいずれかの写しを3部提出してください。ただし、本学日本文化学部卒業見込者については、出願における論文の提出は不要です。なお、日本語以外で書かれている場合は、日本語による要約も3部提出してください。
10	受験承認書 (該当者のみ)	出願資格（3）（5）に該当する者は、本学大学院の事前審査の結果、送付された承認書の写しを添付してください。
11	業務実績表・語学能力証明書 (コミュニティ通訳学コース履修希望者のみ)	コミュニティ通訳学コースは通訳専門分野とコーディネイト専門分野に分かれています。（コミュニティ）通訳及び関連する行政業務等の実務経験がある場合は、業務実績表（様式任意）を提出してください。 また、語学能力を証明できる書類（検定試験合格証書の写し等）があれば、提出してください。なお、通訳専門分野で入学時に求められる最低限の語学能力に関しては、18ページを参照してください。
12	国籍を証明するもの	在留カード、パスポートのコピーなど。

注1：各種証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本、住民票など改氏名したことを見証できる書類をあわせて提出してください。

注2：外国の大学の卒業証明書及び成績証明書には、日本語訳を添付してください（志願者本人が作成した日本語訳でも可）。

また、原本が1通しか発行されない場合は、出願時に写しを提出するとともに試験日に原本を持参してください。国際文化専攻A型入試及び日本文化専攻の受験者は口述試験集合時間に原本の確認を行います。国際文化専攻B型入試受験者は10:40～12:00の間に原本の確認を行います。

注3：入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」の定めるところにより、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。なお、「履歴書」（様式5）に、ビザの取得状況（在留資格の有無）を記入してください。

IV 出願手続（一般・社会人・外国人留学生共通）

1 出願期間

令和8（2026）年1月5日（月）から令和8（2026）年1月13日（火）まで
（最終日の17:00までに必着のこと）

2 出願方法

出願用封筒を作成して出願書類を封入し、**速達書留郵便**で出願期間内に到着するよう郵送するか、入試課まで持参してください。

【出願用封筒作成方法】

本学Webページから「出願用封筒貼付用紙」を印刷し、市販の角型2号（240mm×332mm）封筒にしっかりと貼り、必要事項全てを記入してください。

なお、書留郵便の配達状況は、発送時に郵便局から受け取る受領証に記載の「お問い合わせ番号」を用いて日本郵便Webサイトの「郵便追跡サービス」で確認できます。

連絡先：入試課（長久手キャンパス 電話 0561-76-8813 平日 9:00～17:30）

提出期限：令和8（2026）年1月13日（火）17:00（必着・厳守）

注1：出願期間を経過したものは受理できません。

注2：速達書留郵便にて郵送する場合は、所要日数を十分考慮し、早めに郵送してください。

また、直接、入試課に持参する場合は、所要時間、交通経路を十分確認してください。

3 出願書類送付先

〒480-1198（個別郵便番号のため住所の記載は不要）

愛知県立大学 入試課

4 受験票の発送

令和8（2026）年1月21日（水）頃発送予定

令和8（2026）年1月28日（水）になっても受験票が届かない時は入試課に照会してください。

V 出願、受験上の諸注意（一般・社会人・外国人留学生共通）

- 1 出願書類に不備、記載漏れのあるときは受理しません。また、出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- 2 出願手続後は、書類の変更、検定料の返還はしません。また、提出された出願書類は原則返還しません。
- 3 出願に際しての問い合わせは、入試課に電話又はE-mailで行ってください。
- 4 住所を変更したときは、変更内容（連絡先電話番号も記入）を郵便で速やかに入試課まで送付してください。
- 5 試験当日は、本学が交付した「受験票」及び筆記用具を必ず持参し、試験開始30分前（9:10（学内推薦除く。）、学内推薦は13:30）までに試験室（学内推薦は口述試験控室）へ集合してください。
- 6 試験当日は、試験室等の案内を掲示しますので、それに従い入室してください。
- 7 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、口述試験及びプレゼンテーションは遅刻を認めません。
- 8 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を時計として使用することはできません。なお、試験室に時計はありません。
- 9 1科目でも受験しない場合は、後続の試験を受験することはできません（学内推薦除く。）。
- 10 試験当日は、大学内の食堂は営業していませんので、昼食を持参してください。
- 11 試験当日は、車の乗り入れができます。

VI 受験上及び修学上の配慮申請について（一般・社会人・外国人留学生共通）

障害を有する等、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがある場合は、出願の前に必ず本学に申し出てください。受験上の配慮申請書（本学指定様式）及び医師の診断書等必要書類を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁しうる者等との面談等を行います。

詳細については、本学 Web ページ「受験上の配慮申請」をご覧ください。

URL <https://www.aichi-pu.ac.jp/prospective/graduate/application.html>

提出期限：令和 7（2025）年 11 月 17 日（月）まで

VII 入学検定料（一般・社会人・外国人留学生共通）

1 入学検定料

30,000 円

2 振込期間

令和 7（2025）年 12 月 16 日（火）から令和 8（2026）年 1 月 13 日（火）まで

ただし、出願書類は令和 8（2026）年 1 月 13 日（火）17:00 本学必着であることを考慮のうえ、早めに振り込んでください。

3 振込場所

全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口でお振り込みください。

ATM（現金自動預払機）、インターネットバンキングは利用しないでください。なお、ゆうちょ銀行・郵便局及びコンビニでは取り扱いません。

4 振込方法

(1) 入学検定料は、「入学検定料の振込依頼書」（様式 3）を A4 判用紙に片面印刷したものを使用して振り込んでください。この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。

(2) 「振込依頼書」の「ご依頼人」欄に志願者の氏名・住所・電話番号を、また「振込金受取書」及び「入学検定料納付証明書」の「ご依頼人」「氏名」欄には志願者の氏名を黒のボールペンで正確に記入してください。

(3) 振込を済ませたら、必ず「入学検定料納付証明書」の「出納済印」欄に金融機関の押印があることを確認してください。

(4) 「入学検定料納付証明書」は、入学願書の「入学検定料納付証明書貼付票」（様式 2）に貼付してください。

(5) 振込手数料は、志願者本人の負担となります。

(6) 愛知県公立大学法人授業料等徴収規程第 7 条に基づき、納付された入学検定料は返還しません。

ただし、入学検定料の支払い後に出願書類を提出（郵送）しなかった場合、出願書類が不備等により受理されなかった場合又は重複して入学検定料を支払った場合は、返還請求ができます。返還請求の手続方法については、入試課に問い合わせてください。

5 振込依頼書の整理番号（コード）

志望専攻	整理番号（コード）
国際文化専攻・日本文化専攻（前期）	624

6 次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、令和 7（2025）年 12 月 1 日（月）までに問い合わせてください。

(1) 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

(2) 入学試験前 1 年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者

(3) 入学試験前 1 年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、失業（自己都合は対象外）又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ先：学生支援課（電話 0561-76-8828 平日 9:00～17:30）

VIII 入学試験（一般・社会人・外国人留学生共通）

1 試験科目等（国際文化専攻 A型入試）

区分	試験日	試験科目（配点）		時間	
学力検査	令和8 (2026)年 2月14日 (土)	外 國 語	英語	9:40～10:40	
			フランス語		
			スペイン語		
			ポルトガル語		
			ドイツ語		
			中国語		
			日本語（第一言語（母語）が日本語でない受験者のみ）		
		上記7外国語科目から一つ選択（100点）			
		科目名		記号	
		言語研究		英語学研究 A 1	
言語研究		フランス語学研究 A 2			
言語研究		スペイン語学研究 A 3			
言語研究		ドイツ語学研究 A 4			
言語研究		中国語学研究 A 5			
言語研究		言語学研究 A 6			
言語研究		コミュニケーション通訳学研究 A 7			
文学文化研究		英米文学・文化研究 B 1			
文学文化研究		フランス語圏文学・文化研究 B 2			
文学文化研究		スペイン語圏文学・文化研究 B 3			
文学文化研究		ドイツ語圏文学・文化研究 B 4			
文学文化研究		中国文学・文化研究 B 5			
国際社会研究		欧米政治経済研究 C 1			
国際社会研究		中国政治経済研究 C 2			
国際社会研究		国際関係論研究 C 3			
地域社会研究		欧米歴史社会研究 D 1			
地域社会研究		アジア歴史社会研究 D 2			
地域社会研究		中南米・新興国研究 D 3			
地域社会研究		文化人類学・比較地域研究 D 4			
上記19専門科目から一つ選択（100点）				11:00～12:30	
口述試験	研究計画書を中心に1人20分程度行う。（A～D評価）				

注1：外国語及び専門科目は上記の表からそれぞれ一つを選択し、入学願書、受験票、照合写真票に科目名と記号を記入してください。

なお、出願時において選択した受験科目の変更はできません。

注2：学力検査（外国語・専門科目）において辞書の持ち込みを認めません。ただし、社会人学生受験者については、外国語（日本語を除く。）の学力検査において辞書（電子辞書類を除く。）を持ち込むことを認めます。その他の試験については、いかなる辞書・参考書・資料等の持ち込みも認めません。

注3：外国語科目について、受験者は自分の第一言語（母語）を受験できません。

注4：第一言語（母語）が日本語でない受験者には、口述試験の中で日本語能力を審査します。

注5：専門科目について、受験者は研究計画書に則した科目を選択してください。

注6：本学の学内推薦を受けた者は、A型入試の学力検査が免除され口述試験のみになります。

なお、一般受験（学力検査及び口述試験）との併願はできません。

2 試験科目等（国際文化専攻 B型入試）

区分	試験日	試験科目(配点)	時間
学力検査	令和8 (2026)年 2月14日 (土)	英語 フランス語 スペイン語 ポルトガル語 ドイツ語 中国語 日本語（第一言語（母語）が日本語でない受験者のみ） 上記7外国語科目から一つ選択（100点）	9:40～10:40
プレゼンテーション		1人40分程度（報告は15分以内、その後質疑応答）行う。 （「研究計画」または研究を通じた「キャリアアップ計画」の学術的な妥当性（独創性、論理性など）：100点、 当該の専門分野の理論・方法等に関する基礎的知識：100点、 計200点）	12:00～

注1：外国語は上記の表から一つを選択し、入学願書、受験票、照合写真票に科目名を記入してください。
なお、出願時において選択した受験科目の変更はできません。

注2：外国語において辞書の持ち込みを認めません。ただし、社会人学生受験者については、外国語（日本語を除く。）において辞書（電子辞書類を除く。）を持ち込むことを認めます。

注3：外国語科目について、受験者は自分の第一言語（母語）を受験できません。

注4：学内推薦はB型入試を選択できません。

注5：これまでの研究蓄積または実務経験をふまえた「研究計画」または研究を通じた「キャリアアップ計画」を日本語でプレゼンテーションしてください。

注6：研究計画・キャリアアップ計画の概要は次のとおりです。

研究計画：特定の専門分野に関する研究の蓄積をふまえた本研究科での具体的な研究の計画

キャリアアップ計画：特定の専門分野に関する実務経験をふまえた本研究科での研究とこれを通じたキャリアアップの計画

注7：発表形式は、レジュメなどの紙媒体の資料による発表とモニタを使用する発表の2種類を認めます。

紙媒体の資料を使用する場合：試験当日は、資料を4部持参してください。

モニタを使用する場合：出願時に申し出てください（入学願書の「モニタを使用する」にチェックをしてください。）。試験当日は、Microsoft® Office PowerPoint®のファイル（バージョンはPowerPoint 2016®以前のもの）またはPDFファイルを、USBメモリに保存して持参してください。また、投影資料を4部印刷して持参してください。

注8：研究資料（考古・民俗資料等を含む。）の現物を提示するなど、プレゼンテーションに関する受験者本人の工夫を認めます。

3 試験科目等（日本文化専攻）

区分	試験日	試験科目（配点）			時間
学力検査	令和8 (2026)年 2月14日 (土)	外 国 語	英語 フランス語 スペイン語 ポルトガル語 ドイツ語 中国語 日本語 (第一言語（母語）が日本語でない受験者のみ) 上記7外国語科目から一つ選択（100点）		
			科 目 名		
専門科目	令和8 (2026)年 2月14日 (土)	文学思想研究	言語研究	日本語学研究	E
				日本文学研究（古代・中世・近世）	F 1
				日本文学研究（近現代）	F 2
				漢文学研究	F 3
		歴史文化研究		日本歴史研究	G
				日本地域研究	H
		上記専門科目から一つ選択（100点）			11:00～12:30
口述試験		研究計画書を中心に1人20分程度行う。（A～D評価）			14:00～

注1：外国語及び専門科目は上記の表からそれぞれ一つを選択し、入学願書、受験票、照合写真票に科目名と記号を記入してください。

なお、出願時において選択した受験科目の変更はできません。

注2：学力検査（外国語・専門科目）において辞書の持ち込みを認めません。ただし、社会人学生受験者については、外国語（日本語を除く。）の学力検査において辞書（電子辞書類を除く。）を持ち込むことを認めます。その他の試験については、いかなる辞書・参考書・資料等の持ち込みも認めません。

注3：外国語科目について、受験者は自分の第一言語（母語）を受験できません。

注4：第一言語（母語）が日本語でない受験者には、口述試験の中で日本語能力を審査します。

注5：専門科目について、受験者は研究計画書に則した科目を選択してください。

注6：専門科目F 1は古代から近世にかけての古典全般の範囲から出題します。

注7：本学の学内推薦を受けた者は、学力検査が免除され口述試験のみになります。

なお、一般受験（学力検査及び口述試験）との併願はできません。

4 試験場（30ページの案内図参照）

愛知県立大学長久手キャンパス

愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3

IX 合否判定の基準（一般・社会人・外国人留学生共通）

学力検査の得点、口述試験の評価（またはプレゼンテーションの得点）及び出願書類を総合して判定を行います。ただし、口述試験の評価については、A、B、C、Dの4区分とし、Dについては、学力検査の結果に関わらず不合格とします。

- A：本学の大学院博士前期課程に入学して、十分に研究を行うことができる。
- B：本学の大学院博士前期課程に入学して、研究を行うことができる。
- C：本学の大学院博士前期課程で研究を行うためには、かなりの努力が必要である。
- D：本学の大学院博士前期課程で研究するには、現時点では不適当である。

X 合格発表（一般・社会人・外国人留学生共通）

令和8（2026）年2月27日（金） 10:00（予定）

- 1 本学に掲示するとともに、合格者に入学許可通知書を郵便で送付します。
- 2 電話等による問い合わせには、一切応じられません。
- 3 スマホ・携帯電話サイトによる合格者受験番号情報の提供については29ページを参照してください。

XI 入学手続（一般・社会人・外国人留学生共通）

- 1 合格者は本学所定の入学期料納入通知書により入学期料を納付したうえで、手続期間内に角形2号封筒に所定の入学期料納付証明書及び入学期料納付証明書を同封し、「速達書留郵便」で郵送するか、入試課まで持参してください。（金額は改定されることがあります。）

なお、入学期料期間に入学手続を完了しない場合は、入学許可を取り消します。郵送については所要日数を十分に考慮し、早めに発送してください。

また、入学手続を完了し、入学許可を得た人であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和8（2026）年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

手 続 期 間	令和8（2026）年3月4日（水）から令和8（2026）年3月6日（金）まで （最終日の17:00までに必着のこと）
郵 送 先	〒480-1198（個別郵便番号のため住所の記載は不要） 愛知県立大学 入試課
入 学 料	282,000円
問い合わせ先	入試課 電話 0561-76-8813
注 意 事 項	手続期間を経過したものは受理できません。 事務取扱時間は、平日 9:00～17:30です。

※愛知県公立大学法人授業料等徴収規程第7条に基づき、納付された入学期料は返還しません。

※国費外国人留学生制度実施要領（昭和29年3月31日文部大臣 裁定）に定める国費外国人留学生及び国費外国人留学生の奨学金支給期間延長申請中（または延長申請を行う予定）の者は、入学手続日が異なりますので、合格発表後、令和8（2026）年3月3日（火）までに入試課までご連絡ください。

- 2 次のいずれかの項目に該当する場合に、申請により入学期料の一部又は全部が免除されることがあります。
詳細については、令和8（2026）年2月27日（金）までに問い合わせてください。
(1) 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
(2) 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学期料の納付が極めて困難になった者
(3) 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、失業（自己都合は対象外）又は事業の倒産により、入学期料の納付が極めて困難になった者

※制度については、内容に変更が生じる可能性があります。

問い合わせ先：学生支援課（電話 0561-76-8828 平日 9:00～17:30）

XII 授業料 (一般・社会人・外国人留学生共通)

1 授業料 (金額は改定されることがあります。)

期 別	授 業 料	納付期限
前期（4月1日～9月30日）	267,900円	4月30日まで
後期（10月1日～3月31日）	267,900円	10月31日まで

※授業料納付手続は入学後となります。

2 次のいずれかの項目に該当する場合に、申請により授業料の一部若しくは全部が免除又は徴収延期になることがあります。(徴収延期は一般・社会人のみ)

【一般・社会人】

- (1) 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- (2) 経済的理由により授業料の納付が困難な者
- (3) 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- (4) 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、失業（自己都合は対象外）又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者

詳細については、本学Webページ「入学料・授業料の減免」をご覧ください。

URL https://www.aichi-pu.ac.jp/campus_life/reduction.html

【外国人留学生】

最短在学期間で修了できる見込みがある者

※制度については、内容に変更が生じる可能性があります。

問い合わせ先：学生支援課（電話 0561-76-8828 平日 9:00～17:30）

XIII 長期履修制度 (一般・社会人・外国人留学生共通)

1 長期履修制度とは

この制度は、現職教員などの就業及び育児・介護の事由により、通常の修業年限（2年）で修了することが困難な場合、2年を超えて一定の期間（最長4年）にわたり計画的に教育課程を履修して修了するなど、大学院における多様で柔軟な学習機会を提供し、社会人の大学院での学びを支援することを目的としています。

2 長期履修を申請できる者

職業を有し就業している者（自営業を含む。常勤・非常勤を問わない。）、育児又は親族の介護を行う必要のある者を対象としています。

3 授業料（年額）

授業料は、3年ないし4年で履修する場合でも、通常の修業年限（2年）で履修し納める場合と総額は同じで、次のとおりとなります。

定められた金額 × 標準修業年限（2年） ÷ 許可された修業年限

（参考）①修業年限が4年で許可された者の授業料の年額

$$535,800 \text{ 円} \times 2 \text{ 年} \div 4 \text{ 年} = 267,900 \text{ 円 (年額)}$$

②修業年限が3年で許可された者の授業料の年額

$$535,800 \text{ 円} \times 2 \text{ 年} \div 3 \text{ 年} = 357,200 \text{ 円 (年額)}$$

4 申請方法

合格者には、あらためて長期履修制度の案内をします。長期履修許可申請書に必要事項を記入のうえ、在職証明書等、申請理由を証明する書類とあわせて期限までに学務課に提出してください。

5 申請期限

合格者に対し、別途郵送にて案内します。

6 長期履修の可否と通知

申請者に対し、入学前までに郵送にて結果を通知します。

7 長期履修制度についての問い合わせ先：学務課 電話 0561-76-8824

送付先：〒480-1198（個別郵便番号のため住所の記載は不要）
愛知県立大学 学務課 大学院国際文化研究科担当

XIV 入試結果の閲覧（一般・社会人・外国人留学生共通）

個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、愛知県立大学大学院入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の閲覧を求めるることができます。

1 閲覧ができる範囲

学力検査の科目別得点、口述試験の評価、プレゼンテーションの評価別得点

2 閲覧ができる期間

令和8（2026）年3月2日（月）から令和8（2026）年3月31日（火）までの1か月間（ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日及び本学が特別に休暇と定める日は受付できません。）

3 閲覧の受付を行う場所及び時間

愛知県立大学 県大総務課（長久手キャンパス）
9:00～17:00（11:15～12:15は除く。）

4 閲覧に必要な書類

本学大学院受験票及び身分証明書等

5 閲覧の方法

閲覧によってのみ行います。写しの交付は行いません。

6 その他

電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

【一般学生募集要項の出願資格（9）】及び【外国人留学生募集要項の出願資格（5）】による出願資格の事前審査について

本出願資格による志願者については、下記1の要件を有しているかどうか事前審査を行います。

1 一般学生募集要項の出願資格（9）及び外国人留学生募集要項の出願資格（5）に該当する者とは、高等専門学校・短期大学の卒業者、専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本分校・外国人学校の卒業者など、大学卒業資格を有していない者（これらの学校等に進学していない高等学校の卒業者を含む。）であって、次のいずれかの基礎資格を有しているものをいう。

- (1) 本学大学院の研究分野と同等又は類似分野の研究機関に在籍、又は在籍した経歴を持ち顕著な業績を修めたと認めた者
- (2) 本学大学院の研究分野と同等又は類似分野の学会に所属し、論文又は研究が高く評価できるものと認めた者
- (3) 公的な国際機関、日本の在外公館等に勤務若しくは勤務した経歴を持つ者、日本の海外援助活動に従事若しくは従事した経歴を持つ者、又は公的機関等において通訳業務に従事した経歴を持つ者で、諸外国の経済・文化・制度を深く理解していると認めたもの

2 出願資格の事前審査

本学Webページから以下の事前審査書類をダウンロードし、令和7（2025）年12月9日（火）までに提出してください。

- (1) 事前審査申請書（所定の用紙）
- (2) 履歴書（様式任意）
- (3) 研究分野等希望調書（所定の用紙）
- (4) 業績又は研究の内容が分かる論文等の出版物（提出ができる者、日本語以外の場合は日本語の要約を添付）
- (5) 最終教育機関の卒業（修了）証明書
- (6) 返信用封筒（事前審査の結果を通知するので、長形3号（120mm×235mm）封筒に切手410円分を貼り、志願者の日本国内の受信先の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）
- (7) その他本研究科が必要とする書類

注：(5)の証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本、住民票など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

3 事前審査の結果については、前項（6）の返信用封筒により、本人あてに通知します。

なお、出願資格があると認定された者は、出願期間中に出願書類を本学所定の封筒により、速達書留郵便で郵送するか、入試課まで持参してください

【一般学生募集要項の出願資格（10）】による出願資格の事前審査について

本出願資格による志願者については、下記1の要件を満たすかどうか事前審査を行います。

1 出願資格（10）とは、次の（1）又は（2）の要件を満たす者をいう。

- (1) 大学において3年以上在学している者
 - ア 在学期間について
出願時に大学に3年以上在学している者又は令和8（2026）年3月31日までに大学在学期間が3年に達する見込みの者
 - イ 修得単位について
令和8（2026）年3月31日において、90単位以上修得する見込みであること。
 - ウ 成績評価について
令和8（2026）年3月31日において、修得単位の2分の1以上が「優」又はA以上の評価（点数評価の場合、80点以上）を得る見込みであること。
- (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (1) に準じて取り扱う。（外国語の証明書については日本語訳を添付）

2 出願資格の事前審査

本学Webページから以下の事前審査書類をダウンロードし、令和7（2025）年12月9日（火）までに提出してください。

- (1) 事前審査申請書（所定の用紙）
- (2) 成績証明書

- (3) 履歴書（様式任意）
- (4) 研究分野等希望調書（所定の用紙）
- (5) 返信用封筒（事前審査の結果を通知するので、長形3号（120mm×235mm）封筒に切手410円分を貼り、志願者の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）
- (6) その他本研究科が必要とする書類

注：(2)の証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本、住民票など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

- 3 事前審査の結果については、前項（5）の返信用封筒により、本人あてに通知します。
なお、出願資格があると認定された者は、出願期間中に出願書類を本学所定の封筒により、速達書留郵便で郵送するか、入試課まで持参してください。
- 4 入学試験の結果、合格となった者は、令和8（2026）年3月23日（月）までに在学大学（学部）長が発行する成績証明書（3年次修了時までの成績が記載されたもの）を提出してください。
- 5 入学試験の結果、合格と判定されても、令和8（2026）年3月31日までに前頁1（1）又は（2）の条件を満たせない場合は、入学許可を取り消します。
- 6 本出願資格により入学する者は、在学している大学を退学することになります。
従って、国家試験及び種々の資格試験等の受験資格で、大学卒業を要件としているものについては、受験資格が得られなくなります。

【外国人留学生募集要項の出願資格（3）】による出願資格の事前審査について

本出願資格による志願者については、下記1の要件を有しているかどうか事前審査を行います。

- 1 出願資格（3）に該当する者とは、次の基礎資格を有している者をいう。
外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- 2 出願資格の事前審査
本学Webページから以下の事前審査書類をダウンロードし、令和7（2025）年12月9日（火）までに提出してください。
 - (1) 事前審査申請書（所定の用紙）
 - (2) 卒業（見込み）証明書
 - (3) 成績証明書
 - (4) 履歴書（様式任意）
 - (5) 返信用封筒（事前審査の結果を通知するので、長形3号（120mm×235mm）封筒に切手410円分を貼り、志願者の日本国内の受信先の郵便番号・住所・氏名を明記したもの）
 - (6) その他本研究科が必要とする書類

注：(2)、(3)の証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本、住民票など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

- 3 事前審査の結果については、前項（5）の返信用封筒により、本人あてに通知します。
なお、出願資格があると認定された者は、出願期間中に出願書類を本学所定の封筒により、速達書留郵便で郵送するか、入試課まで持参してください。

愛知県立大学大学院国際文化研究科博士前期課程の案内

国際文化研究科は、外国語学部と日本文化学部を土台とする、国際文化・日本文化2専攻の博士前期・後期課程を有する区分制の大学院です。

前期課程では、日本文化に精通しつつ、国際社会にかかる高度な専門的知識を持ち、多文化の共生関係を深く理解して、国際社会及び地域社会の様々な分野において積極的に活躍できる国際感覚に優れた人材を育成します。

後期課程では、前期課程での達成を前提に、現代社会と国際社会に対してグローバルな視野を備え、しかも個々の文化のローカルな特徴にも十分な理解を併せ持った教育研究者や専門的職業人を育成します。

国際文化研究科では、上記の目的達成のため、次のような学生を求めています。

【アドミッション・ポリシー】

国際文化研究科国際文化専攻博士前期課程

○日本文化を含む国際文化への深い関心と強い探究心を持ち、修得した専門知識を国際社会及び地域社会に還元する堅固な意志を有する人。

○日本文化を含む国際文化研究に必要な知識と外国語能力を備え、高度な論理的思考をもって学習・研究できる人。

国際文化研究科日本文化専攻博士前期課程

○国際文化を視野に入れた日本文化の学術研究に積極的な意欲を持ち、修得した専門知識を国際社会及び地域社会に還元する堅固な意志を有する人。

○日本文化を包含する国際文化研究に必要な知識と外国語能力を備え、高度な論理的思考をもって学習・研究できる人。

国際文化専攻

【教育研究組織】

国際文化専攻博士前期課程は、下記の2専門4研究分野から構成され、充実したカリキュラムと豊富なスタッフによって、きめ細やかな教育・研究指導を行います。

■ 2専門4研究分野

専 門	研 究 分 野
言 語 文 化	言 語 研 究
	文 学 文 化 研 究
社 会 文 化	国 際 社 会 研 究
	地 域 社 会 研 究

【教育課程の特色】

本専攻前期課程における教育課程の特色は、国際文化の土台を言語文化と社会文化と認識し、両専門にそれぞれ2研究分野、すなわち言語文化専門に言語研究分野と文学文化研究分野、社会文化専門に国際社会研究分野と地域社会研究分野の4研究分野を設置しているところにあります。また、平成27(2015)年度から、本専攻に英語高度専門職業人コースを設けています。令和4(2022)年度からは新たにコミュニケーション通訳学コースを設置し、さらに、令和8(2026)年度からは通訳専門分野とコーディネイト専門分野になりました。

外国語学部の上に立つ専攻として、本専攻では日本を除くほとんどの国家・地域・社会がカバーされており、各国・地域の区分にとらわれない国際的な視野のもと、共通のディシプリンをもって教育・研究が行われます。

英語高度専門職業人コースでは、英語専修免許の取得に必要な授業科目をはじめ、学士課程で培った英語の言語知識及び運用能力をプロフェッショナルとして活躍できる闇にまで高め、洗練するための教育・研究が行われます。

コミュニケーション通訳学コースでは、医療、司法、教育、行政、福祉等の領域の専門家と外国语話者等のコミュニケーションを支援するコミュニケーション通訳について、理論と実践の両面から研究することを目的とします。日本語を軸語としてコア言語のポルトガル語、スペイン語、中国語、英語との通訳言語ペアを指導します。医療、司法、教育、行政、福祉等の分野をカバーする講義・演習（実務家が一部担当）外部機関等との連携による通訳実習、人間発達学研究科及び看護学研究科との連携科目等を含むカリキュラムを通して、専門知識を有するコミュニケーション通訳者や、コーディネータ、研究者を養成します。なお、入学時における通訳専門分野の最低限の語学能力の目安は以下を参考にしてください。

- ・日本語：日本語能力試験N1レベル
- ・英語：TOEIC860点または英検1級レベル
- ・中国語：中検準1級またはHSK6級レベル
- ・その他の言語：CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）でB2レベル

また、国際文化専攻では、平成30(2018)年度入学生から、修了課題として、修士論文か特定課題研究成果のいずれかを選択できるようになりました。修士論文が学術の理論や体系の向上をめざし、その基礎となる知識・方法

の提供を目的とする研究であるのに対し、特定課題研究成果は、学術の理論・体系そのものの向上よりも、学術の利用価値を高めることを目的とする研究です。

各分野の専門教育は複数の教員が様々な角度から研究した内容を反映して、複合的かつ重層的に深化しています。その意味で、非常に充実したカリキュラム（19、20 ページの授業科目一覧参照）を組むことが可能となりました。なお、日本文化専攻との間に共通科目を多く設けることで、自文化理解を前提とした真に国際的な視野に基づく異文化理解がなされるような教育課程を提供しています。

【教育課程の考え方】

教育課程は、共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導からなっています。

- 1 研究分野の専門科目には、各分野の独自性を生かす授業科目とともに、その分野の自文化理解、異文化理解に深く関わる授業科目を設置しています。
- 2 共通基礎科目には大学院教育への導入となる科目を置き、共通関連科目には言語運用能力を高める科目や海外大学院を含めた他の大学院等で修得した科目を活用できる授業科目等を配置しています。
- 3 指導教員から研究指導を2年間継続して受け、修士学位論文または特定課題研究成果の完成を目指します。

【養成する人材】

本研究科では、自文化に精通しつつ、国際社会に関わる高度な専門的知識を持ち、多文化の共生関係を深く理解して、国際社会及び地域社会の様々な分野において活躍できる人材を育成します。特に国際文化専攻では、豊かな人間性と外国語のコミュニケーション能力を備え、国際社会及び地域社会における様々な社会的・文化的諸問題を解決する能力のある人材、高度専門職業人、研究者を育成します。

国際文化専攻 授業科目一覧（令和8（2026）年度実施予定）

言語文化専門科目（言語研究分野）		言語文化専門科目（文学文化研究分野）	
授業科目名称	現代英語学研究 歴史英語学研究 英語教育学研究 中国語学研究 言語学・諸言語研究 英語表現演習 コミュニティ通訳翻訳演習 コミュニティ通訳研究 会議通訳演習 司法・医療通訳論 言語特別研究	授業科目名称	イギリス文学・文化研究 アメリカ文学・文化研究 中国文学・文化研究 諸地域文学・文化研究 翻訳演習（英・日） 文学文化特別研究
社会文化専門科目（国際社会研究分野）		社会文化専門科目（地域社会研究分野）	
授業科目名称	英米政治経済研究 ヨーロッパ政治経済研究 中国政治経済研究 国際関係論研究 国際社会特別研究	授業科目名称	英米歴史社会研究 ヨーロッパ歴史社会研究 アジア歴史社会研究 中南米・新興国地域研究 比較地域研究 文化人類学研究 地域社会特別研究
共通基礎科目及び共通関連科目		研究指導科目	
授業科目名称	国際文化研究基礎 多文化共生論 公益通訳と社会資源 文化理論研究 日本語教育学研究 国際コミュニケーション 多言語多文化実務論 コミュニティ通訳実習 学外連携プロジェクト型研修 国際文化特殊研究 海外大学院修得科目	授業科目名称	国際文化特殊演習 国際文化研究（修士論文または特定課題研究成果）

英語高度専門職業人コース開講授業科目一覧（令和8（2026）年度実施予定）

科目区分	授業科目名称	内 容
A群 英米言語・文化論	現代英語学研究 歴史英語学研究 英語教育学研究 イギリス文学・文化研究 アメリカ文学・文化研究 英米政治経済研究 英米歴史社会研究	英米文化を広く学び、国際教養力を高める講義
B群 英語翻訳論・英語演習科目	翻訳演習（英・日） 国際コミュニケーション 英語表現演習	翻訳を行うための演習
C群 異文化論	国際文化研究基礎 多文化共生論 文化理論研究	異文化理解を円滑にするための講義
D群 論文演習	国際文化研究（研究指導）	修士論文または特定課題研究成果を執筆するための実践的な演習
上記を含めた国際文化専攻のいずれかの科目		

コミュニティ通訳学コース開講授業科目（令和8（2026）年度実施予定）

科目区分	授業科目名称	内 容
基礎科目	国際文化研究基礎 多文化共生論 公益通訳と社会資源	異文化理解を円滑にするための講義
コミュニケーション通訳 学科目	国際コミュニケーション コミュニケーション翻訳演習 会議通訳演習 司法・医療通訳論	コミュニケーション通訳及びコミュニケーション通訳学のための演習
	コミュニケーション通訳研究	コミュニケーション通訳学に関する講義
多文化社会論科目	多言語多文化実務論 地域社会学特講 多文化社会論特講 比較地域研究	多言語・多文化社会をより深く理解するための講義
専門分野連携科目	比較法政治研究 公共政策論特講 スクールソーシャルワーク特講 地域福祉論特講 子ども家庭福祉論特講 医療福祉論特講 地域看護学特論 国際看護学特論 国際文化特殊研究	人間発達学研究科及び看護学研究科の連携科目
専門分野関連科目	その他国際文化研究科開講科目	
実務実習	学外連携プロジェクト型研修	国内外の連携機関との協力による実施プログラムでのPBL型研修
	コミュニケーション通訳実習	事前・事後研修と36時間程度の実習
研究指導	国際文化特殊演習 国際文化研究	修士論文または特定課題研究成果を執筆するための実践的な演習

国際文化専攻 専任教員一覧（令和8（2026）年4月予定）

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域等	主研究指導担当教員
(1) 言語研究	教授	東 弘子	日本語学、社会言語学	○
	教授	池田 周	英語教育学、応用言語学	○
	教授	石原 覚 ※2	英語学、古英語、英語文献学	○
	教授	糸魚川 美樹	スペイン語学、社会言語学、医療通訳研究	○
	教授	熊谷 吉治	英語学、音象微と音節理論、情報構造と韻律論	○
	教授	櫻井 健	言語学、北欧語学、言語変化・言語接触	
	教授	月田 尚美	言語学、形態論、台湾原住民諸語	○
	教授	長沼 圭一	フランス語学	
	教授	人見 明宏	ドイツ語学・文法、テクスト言語学、統語論	
	教授	森田 久司	英語学、言語学、統語論、意味論	○
	准教授	袁 曜今	語構成論、生成語彙論、日中対照言語学	
	准教授	岸本 聖子	フランス語学、意味論、語用論	
	准教授	クレイグ・ジョーンズ	第二言語英語教授法	
	准教授	ペアトリス プリエト ムニヨス	外国語としてのスペイン語教育	
(2) 文学文化研究	准教授	ジョシュ・ブルノティ	英語教育、社会心理学	○
	准教授	水谷 謙太	英語学、形式意味論、法助動詞、焦点辞、スケール構造	○
	准教授	楊 明	現代中国語文法	
	准教授	吉田 理加	コミュニケーション通訳研究、異文化コミュニケーション、言語人類学	○
	講師	千葉 月香	地域日本語教育、日本語教育学	
	教授	梶原 克教	英語圏文化、批評・理論	○
	教授	川尻 文彦	中国近代思想	○
	教授	平井 守 ※1	ドイツ文学、ゲーテ	
	教授	三原 穂	18世紀英文学、文献学	○
	教授	山本 順子 ※1	ドイツ文化、表現主義とダダイズム、知覚変容論	○
	准教授	青木 耕平	アメリカ文学・文化、冷戦体制崩壊以降の文学・文化、21世紀の現代アメリカ小説	
	准教授	小倉 悠輝	アメリカ文学、モダニズム詩、現代詩	

注：希望する指導教員には、予め相談しておくことが望ましい。希望する指導教員が本学 Web ページ等にて連絡先を公開している場合は、直接連絡をすること。確認できない場合は、入試課に問い合わせること。

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域等	主研究指導担当教員
(3) 国際社会研究	教授	奥野 良知	近現代カタルーニャ史・カタルーニャ地域研究	○
	教授	木下 郁夫	国際機構・国際紛争、外交関係	○
	教授	高阪 香津美	ポルトガル語教育、多文化共生	○
	教授	今野 元	ヨーロッパ国際政治史、ドイツ政治思想、日独関係史	○
	教授	中田 晋自	政治学（フランス都市政治研究）	○
	教授	西野 真由	中国農業経済、農業労働力研究	
	准教授	奥田 泰広	イギリス政治・外交、国際関係史	○
	准教授	杉原 周治	ドイツ法、憲法学、メディア法	○
	准教授	竹内 徹	国際法	○
	准教授	町田 花里奈	現代中国政治・外交、中国刑事法学	○
(4) 地域社会研究	教授	山口 雅生	マクロ経済学、国際経済学、日本経済	
	教授	秋田 貴美子 ※2	女性学、日米文化	○
	教授	亀井 伸孝	文化人類学、アフリカ地域研究	○
	教授	菊池 好行	19・20世紀日英交流論、科学技術史	○
	教授	小池 康弘 ※2	ラテンアメリカ政治・外交、キューバ研究、国際協力論	○
	教授	佐野 直子	少数言語（オクシタン語）研究、社会言語学	○
	教授	竹中 克行	地理学、地中海都市・ランドスケープ研究	○
	教授	谷口 智子	宗教学、ラテンアメリカ地域研究	○
	教授	半谷 史郎	ロシア研究（特に20世紀のソ連史）	○
	教授	久田 由佳子	アメリカ近代史、建国初期～南北戦争前の社会史・家族史・女性史	○
	准教授	池田 利昭	ドイツ中近世都市、ドイツ近世国家、犯罪の社会・文化史	
	准教授	伊藤 滋夫	フランス中世・近世史、財政史研究、公債の研究	
	准教授	佐藤 雅哉	アメリカ現代史	○
	准教授	白谷 望	モロッコ政治、中東・北アフリカ地域研究、比較政治学	○
	准教授	福岡 千珠	社会学、アイルランド研究	
	准教授	藤倉 哲郎	東南アジア社会経済論、地域研究（ベトナム）	
	准教授	矢野 順子	東南アジア政治、東南アジア地域研究	
	准教授	渡会 環	ブラジル地域研究	
	講師	木内 翔	イギリス近代史、キリスト教史	

コミュニケーション学コース（特任教員）

職名	氏名	専門・専攻領域等	主研究指導担当教員
准教授	グエン タン タム※2	翻訳理論・日越翻訳通訳研究	

注：希望する指導教員には、予め相談しておくことが望ましい。希望する指導教員が本学 Web ページ等にて連絡先を公開している場合は、直接連絡をすること。確認できない場合は、入試課に問い合わせること。

※1印の教員は、令和9（2027）年3月31日付けで退職予定である。

※2印の教員は、令和10（2028）年3月31日付けで退職予定である。

日本文化専攻

【教育研究組織】

日本文化専攻博士前期課程は、下記の2専門4研究分野から構成され、充実したカリキュラムと豊富なスタッフによって、きめ細やかな教育・研究指導を行います。

■ 2専門4研究分野

専 門	研 究 分 野
言 語 文 化	言 語 研 究
	文 学 思 想 研 究
社 会 文 化	歴 史 文 化 研 究
	地 域 文 化 研 究

【教育課程の特色】

本専攻前期課程における教育課程の特色は、日本文化の土台を言語文化と社会文化と認識し、両専門にそれぞれ2研究分野、すなわち言語文化専門に言語研究分野と文学思想研究分野、社会文化専門に歴史文化研究分野と地域文化研究分野の4研究分野を設置しているところにあります。

日本文化学部の上に立つ専攻として、同学部国語国文学科の上に本専攻の言語文化専門が、同学部歴史文化学科の上に同じく社会文化専門がそれぞれ立つ形となっています。専門内はさらに各教員の研究分野・ディシプリンによって分かれ、専門性豊かな教育・研究が行われます。日本研究に特化した各分野の専門教育は、多数のスタッフにより複合的かつ重層的に深化しています。その意味で、非常に充実したカリキュラム（24ページ参照）を組むことが可能となりました。なお、国際文化専攻との間に共通科目を多く設けることで、狭い自文化理解に陥らない真に国際的な視野に基づく多文化理解がなされるような教育課程を提供しています。

【教育課程の考え方】

教育課程は、共通基礎科目、専門科目、共通関連科目、研究指導からなっています。

- 1 研究分野の専門科目には、各分野の独自性を生かす授業科目とともに、その分野の自文化理解、異文化理解に深く関わる授業科目を設置しています。
- 2 共通基礎科目には大学院教育への導入となる科目を置き、共通関連科目には語学運用能力を高める科目や教員専修免許関連授業科目などを配置しています。
- 3 指導教員から研究指導を2年間継続して受け、修士学位論文の完成を目指します。

【養成する人材】

本研究科では、自文化に精通しつつ、国際社会に関わる高度な専門的知識を持ち、多文化の共生関係を深く理解して、国際社会及び地域社会の様々な分野において活躍できる人材を育成します。特に日本文化専攻では、国際的な視野に立って自文化を深く掘り起こし、日本社会に生起する様々な社会的・文化的諸問題を解決する能力のある人材、高度専門職業人、研究者を育成します。

日本文化専攻 授業科目一覧（令和8（2026）年度実施予定）（2専門4研究分野）

言語文化専門科目（言語研究分野）		言語文化専門科目（文学思想研究分野）
授業科目名称	日本語音韻・表記研究 日本語文法研究 日本語表現研究 言語特別研究	日本古代文学研究 日本中世文学研究（韻文・思想） 日本中世文学研究（散文・伝承） 日本近世文学研究 日本近代文学研究 日本近現代文学研究 漢文学研究（文学・思想・史学） 文学思想特別研究
社会文化専門科目（歴史文化研究分野）		社会文化専門科目（地域文化研究分野）
授業科目名称	比較考古学研究 前近代歴史社会研究 近現代歴史社会研究 比較文化史研究 歴史文化特別研究	現代社会研究 人文地理学研究 歴史地理学研究 比較法政治研究 比較文化研究 地域文化特別研究
共通基礎科目及び共通関連科目		研究指導科目
授業科目名称	国際文化研究基礎 多文化共生論 公益通訳と社会資源 文化理論研究 日本語教育学研究 国際コミュニケーション 多言語多文化実務論 コミュニティ通訳実習 学外連携プロジェクト型研修 国際文化特殊研究 海外大学院修得科目	国際文化特殊演習 日本文化研究（修士論文）

日本文化専攻 専任教員一覧（令和8（2026）年4月予定）

研究分野	職名	氏名	専門・専攻領域	主研究指導担当教員
(1) 言語研究	教授	福沢 将樹	国語学、日本語テクス・アスペクト、語用論	○
	講師	大川 孔明	日本語学、文体論、計量言語学、コーパス言語学	
(2) 文学思想研究	教授	伊藤 伸江 ※	日本中世文学、和歌、連歌、紀行文学、日記・隨筆	○
	教授	中根 千絵	日本中世文学、説話文学、今昔物語集	○
	教授	宮崎 真素美	日本近現代文学、近現代詩	○
	教授	若松 伸哉	日本近現代文学	○
	准教授	李 澤珍	日本近世文学、書誌学、寓話・寓言	○
	准教授	洲脇 武志	漢文学、中国古典学、中国中世の学術	○
	准教授	本橋 裕美	日本古代文学、物語文学	○
(3) 歴史文化研究	教授	丸山 裕美子 ※	日本古代史、日唐比較文化研究	○
	准教授	クラーマー スベン	日本近現代史、地方行政史	○
	准教授	内記 理	考古学、東西文化交渉史	○
(4) 地域文化研究	教授	井戸 聰	社会学、地域・文化・観光・環境	○
	准教授	イスマトフ アジズ	比較文化、法と社会	○
	准教授	斎藤 慶子	比較文化、芸術学	
	准教授	柴田 陽一	人文地理学、地理思想史	○
	准教授	服部 亜由未	人文地理学、歴史地理学	○

注：希望する指導教員には、予め相談しておくことが望ましい。希望する指導教員が本学 Web ページ等にて連絡先を公開している場合は、直接連絡をすること。確認できない場合は、入試課に問い合わせること。

※印の教員は、令和9（2027）年3月31日付けで退職予定である。

愛知県立大学長 殿

記入例

受験番号

※
(記入しない)

前

私はこのたび貴大学大学院国際文化研究科博士前期課程に入学したいので、必要書類等を添えて出願します。

志望する専攻
と研究分野を
○で囲む

2026年1月4日

フリガナ

ナガクテ ミドリ

氏名

長久手 みどり

男 女

西暦で記入

2003年7月1日

(満22歳)

志望する専攻
と研究分野
(○で囲む)

国際文化専攻

日本文化専攻

 一般学生

受験区分ハ (ヨリ) チェック

記入例は一般学生
A型入試です 外国人留学生

言語研究

・文学文化研究

・言語研究

・文学思想研究

・国際社会研究

・地域社会研究

・歴史文化研究

・地域文化研究

コース選択 (国際文化専攻の該当者のみ□にチェック)

 英語高度専門職業人コース コミュニティ通訳学コース

出願資格

西暦で記入 2026年3月 卒業・卒業見込み

入試方式 (国際文化専攻のみ□にチェック)

 A型入試 B型入試 → モニタを使用する

連絡先

郵便番号 480-1198

希望する研究指導教員名

現住所
(都道府県から
記入)愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3
コーポイバラガバサマ201

○○ ○○ ← P21・22・25参照

電話番号 0561-76-8813

E-mail ○○○○@△△.□□.jp

受験専門科目

受験外国語

科目名

英語学研究

英語

緊急時の
連絡先

郵便番号

P10-12参照
B型入試は記入しない

A 1

記入例は英語です。
選択する外国語名を記入住所
(都道府県から
記入)

(上の連絡先住所と異なる場合のみ記入)

科目記号

受付年月日

※

記入しない

年 月 日

電話番号

一部、プルダウン選択や自動入力
される入力欄があります。

令和8（2026）年度

愛知県立大学大学院
国際文化研究科

受 験 票

受験番号	※ (記入しない)	
フリガナ	ナガクテ ミドリ	
氏名	長久手 みどり	
入試方式	A型	
受 験 科 目	外国語	英語
	専門科目	英語学研究
	科目記号	A 1

注意事項

- 試験当日の受験科目の変更は認められません。
 - 試験当日はこの受験票を必ず持参してください。
 - 試験室へは、試験開始の30分前までに集合してください。
 - 試験室では、受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机上において監督者に見えるようにしてください。
- 注：※印の欄は記入しないでください。

試験日：令和8（2026）年2月14日（土）

試験場：愛知県立大学長久手キャンパス

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

問合せ先：入試課 電話 0561-76-8813

令和8（2026）年度

愛知県立大学大学院
国際文化研究科

入学検定料納付証明書貼付票

受験番号
※ (記入しない)

入学検定料納付証明書を
この欄にのり付けしてください。

入学検定料 30,000円

令和8（2026）年度

愛知県立大学大学院
国際文化研究科

照合写真票

写真貼付欄
4cm×3cm(全面のり付けし、裏面に
志望研究科（専攻）、氏名
を記入)

受験番号	※ (記入しない)	
フリガナ	ナガクテ ミドリ	
氏名	長久手 みどり	
入試方式	A型	
受 験 科 目	外国語	英語
	専門科目	英語学研究
	科目記号	A 1
出欠	※	
欠のみ	×印	

注：※印の欄は記入しないでください。

入学願書等記入上の注意

- 1 出願書類はパソコン入力・自筆のいずれも可としますが、パソコン入力の場合は記入欄のサイズやレイアウトは変更しないでください。自筆の場合は黒のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。
- 2 記入ミスをしたときは、誤記した文字に二重線を引き、その上の空欄に正しい文字等を記入してください。

各項目の記入方法等

◆ 入学願書

- 1 一番上の欄は、提出する日付、氏名、フリガナ、生年月日、満年齢を記入し、性別を○で囲ってください。氏名を漢字（日本語で使用されているもの）以外の文字で表記している外国人は、ファミリーネーム（姓）を先に、ファーストネーム（名）を後にし、ミドルネームは省略して、ローマン・アルファベットを用いて大文字・活字体で記入してください。ファミリーネームの次に「,」（カンマ）を記入してください。
※印の欄は記入しないでください。
- 2 入学後志望する専攻と研究分野欄
入学後志望する専攻と研究分野欄を○で囲ってください。
- 3 出願資格欄
卒業（見込み）の学校名及びその年月を正確に記入してください。
- 4 連絡先欄
郵便番号、住所、電話番号及び電子メールアドレスを記入してください。住所欄には、確実に連絡を受けられる住所を都道府県から記入してください。また、団地、マンション等に居住している者は、棟番号・戸番まで必ず記入し、下宿の場合は、○○方と記入してください。
- 5 緊急時の連絡先欄
緊急に連絡する場合の連絡先が上の連絡先住所、電話番号と異なる場合にのみ記入してください。同一の場合は、何も記入しないでください。
- 6 受験区分欄・入試方式欄
受験する区分の□にレ（チェック）を記入してください。
- 7 コース選択欄
国際文化専攻は、希望するコースを選択し（18 ページ参照）、□にレ（チェック）を記入してください。コース選択を希望しない場合は、何も記入しないでください。
- 8 入試方式欄
国際文化専攻は受験する入試方式を選択し、□にレ（チェック）を記入してください。B型入試でモニタを使用する発表の場合は、「モニタを使用する」の□にもレ（チェック）を記入してください。
- 9 希望する研究指導教員名欄
愛知県立大学大学院国際文化研究科の案内（21、22、25 ページ参照）のうち、○印のある研究指導担当教員の中から選択して記入してください。（希望する指導教員には、予め相談しておくことが望ましい。）
- 10 受験専門科目欄
専門科目の中から一つ選択し、科目名と記号を記入してください。（受験票及び照合写真票の受験科目欄についても同じものを必ず記入してください。）
学内推薦及び国際文化専攻でB型入試を選択した場合は、何も記入しないでください。
- 11 受験外国語欄
外国語（英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語、日本語）の中から必ず一つ選択し、記入してください。ただし、外国語科目について、受験者は自分の第一言語（母語）を受験できません。（受験票及び照合写真票の受験科目欄についても同じものを必ず記入してください。）
学内推薦は、何も記入しないでください。
- 12 受付年月日欄
受付年月日は何も記入しないでください。

◆ 受験票

氏名、フリガナを必ず記入してください。

国際文化専攻A型入試は、入試方式欄に「A型」と記入し、各受験科目欄（学内推薦除く。）に受験外国語名、受験専門科目名と科目記号を記入してください。

国際文化専攻B型入試は、入試方式欄に「B型」と記入し、受験科目欄（外国語）に受験外国語名を記入してください。

日本文化専攻は、各受験科目欄に受験外国語名、受験専門科目名と科目記号を記入してください（学内推薦除く。）。

※印の欄は記入しないでください。

◆ 入学検定料納付証明書貼付票

出納済印が押印された入学検定料納付証明書（氏名、フリガナを記入のこと。）を貼付欄内にのり付けしてください。

※印の欄は記入しないでください。

◆ 照合写真票

1 氏名、フリガナを必ず記入してください。

国際文化専攻A型入試は、入試方式欄に「A型」と記入し、各受験科目欄（学内推薦除く。）に受験外国語名、受験専門科目名と科目記号を記入してください。

国際文化専攻B型入試は、入試方式欄に「B型」と記入し、受験科目欄（外国語）に受験外国語名を記入してください。

日本文化専攻は、各受験科目欄に受験外国語名、受験専門科目名と科目記号を記入してください（学内推薦除く。）。

2 出願前3か月以内に撮影した写真（正面・上半身・脱帽・無背景・縦4cm×横3cm）を所定の位置に貼ってください。なお、写真の裏面には必ず志望する研究科（専攻）、氏名を記入してください。

※印の欄は記入しないでください。

〈スマホ・携帯電話サイトによる合格者受験番号情報の提供について〉

合格発表は、本学構内に掲示することにより実施します。

このサイトによる情報の提供は、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが入学許可通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

下記URL(携帯電話・スマートフォン・パソコン共通)にアクセスしてください。

<https://daigakujc.jp/aichi-pu/>

携帯電話・スマートフォン
で読み取れます。



入学試験の種類		提供開始日	提供終了日
大学院国際文化研究科（春季）	博士前期課程	令和8（2026）年 2月27日（金）	令和8（2026）年 3月6日（金）
	博士後期課程		
大学院人間発達学研究科（春季）	博士前期課程		
	博士後期課程		
大学院情報科学研究科（春季）	博士後期課程		

◆注意点◆

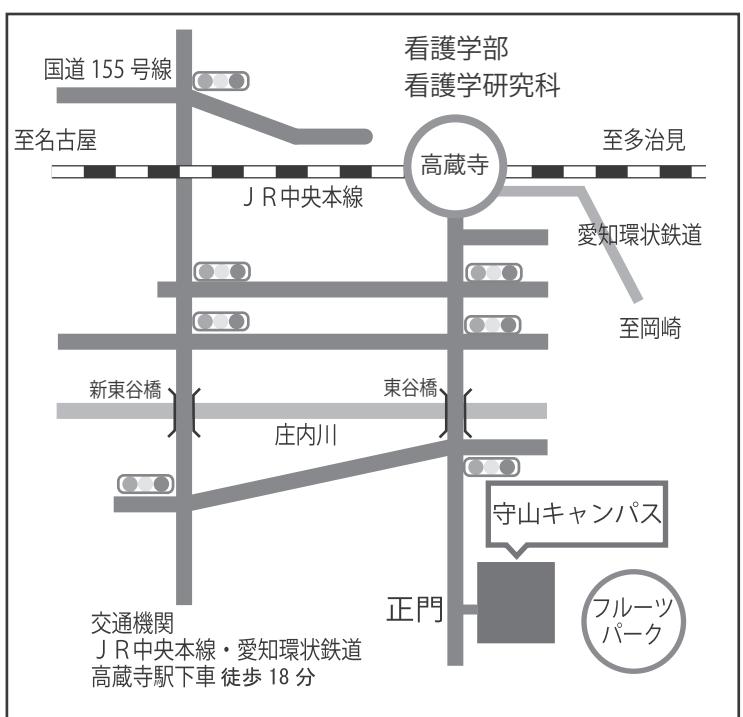
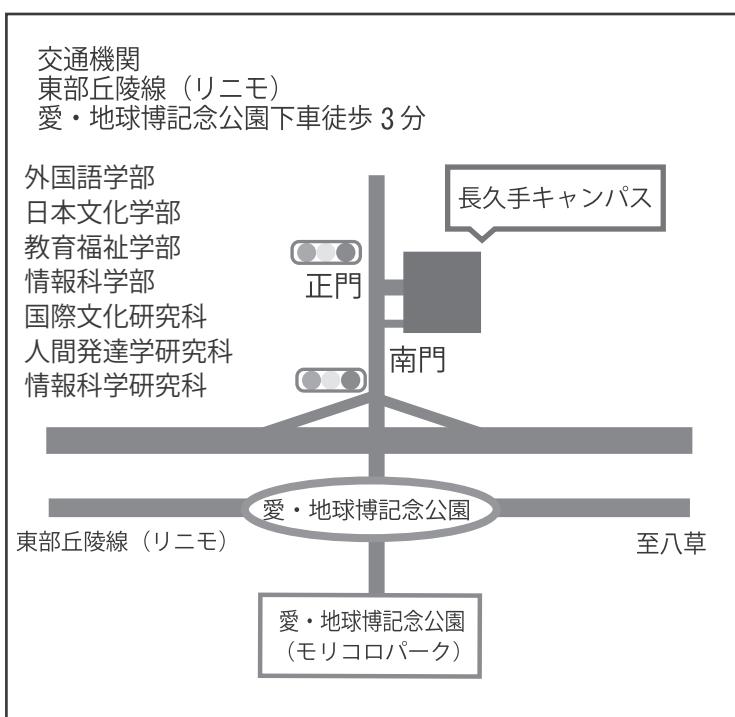
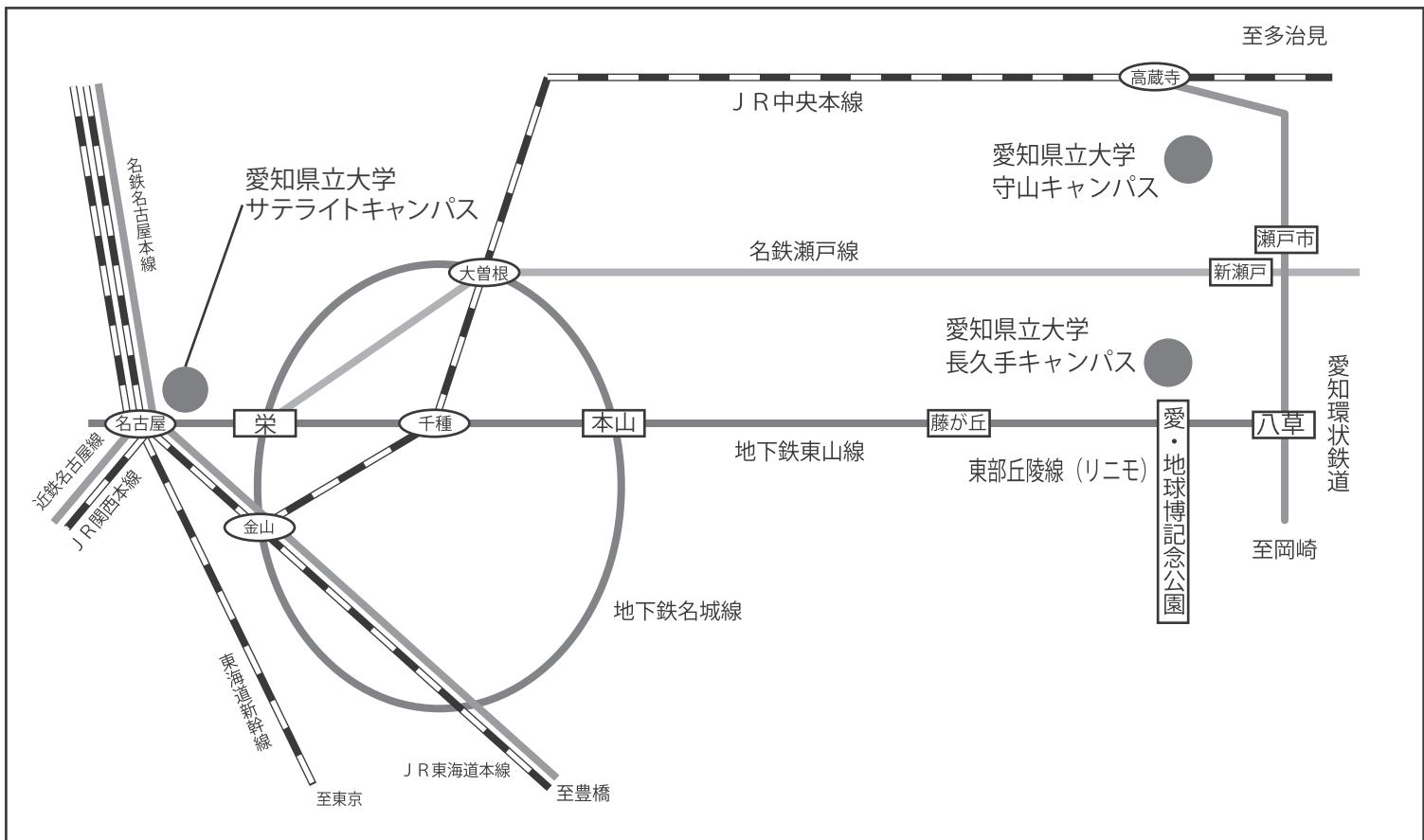
- 1 この情報提供は、学内掲示による発表時刻から利用することができます。
- 2 本情報提供の「誤作動」や「情報の読み違い」等を理由とした入学手続の遅延は認めません。

〈本学近辺における勧誘等にご注意ください〉

本学近辺、「愛・地球博記念公園駅」「藤が丘駅」「八草駅」周辺等での合否電報の受付、アンケート及び勧誘等は、本学とは一切関係ありません。

したがって、これらによるトラブルには一切関知しませんので十分注意してください。

愛知県立大学案内図



○愛知県立大学 スマホ・携帯電話サイト

本学の各種情報が携帯電話・スマートフォン
でも見られます。

<https://daigakujc.jp/aichi-pu/>

詳細は移動後のページでご確認ください。



大学公式 Web サイト

<https://www.aichi-pu.ac.jp/>

【お問い合わせ先】(9:00 ~ 17:30 / 土日祝日を除く)

●長久手キャンパス

〒480-1198 (個別郵便番号)

愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522 番 3

TEL 0561-76-8813 (入試課)

●守山キャンパス

〒463-8502 (個別郵便番号)

名古屋市守山区上志段味東谷

TEL 052-778-7157 (守山学務課)